

平成24年度の 地域密着型金融の取組み状況

目次

1. 地域密着型金融の取組みの概況について …………… 1
2. 具体的な取組み内容について …………… 1
 - (1) 顧客企業に対する
コンサルティング機能の発揮 …………… 1
 - (2) 地域の面的再生への積極的な参画 …………… 8
 - (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信 …………… 10

1. 地域密着型金融の取組みの概況について

平成24年度のわが国経済は、長引く円高・デフレ不況の中、海外経済の軟化や日中情勢の悪化など外需絡みの「下押し圧力」が想定以上に強まりましたが、新政権の発足および日本銀行新総裁の就任以降、大胆な金融緩和政策が打ち出され、景気回復へ向かうことが期待されています。

しかしながら、当金庫が営業の基盤とする京都府内全体の経済情勢は依然厳しい状況が続いています。このような状況の中で、地域金融機関には資金供給者としての役割にとどまらず、コンサルティング機能を積極的に発揮し、お客様の事業拡大や経営改善等に向けた自助努力を最大限支援することが益々期待されております。当金庫は、平成24年度も、金融円滑化や経営改善支援の取組みを強化し、営業店と本部が一体となってお客様のニーズに応じた取組みに一層注力しました。

2. 具体的な取組み内容について

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

1-1 ライフステージ等に応じた取引先企業の支援

● 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

医療系開業支援

一般社団法人京都府医師会・特例社団法人京都府歯科医師会・京都府歯科保険医協会・医療系に特化した税理士・医療系企業等との連携による開業支援を行っています。

京税中信クラブ会員税理士との連携支援

京税中信クラブ会員税理士より顧問先の紹介を受け、顧問先の従業員・家族などの独立開業案件等の相談・紹介に対する支援を行っています。

補助金・助成金に対する助言対応

中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関として創業補助金等の助言対応等を行っています。

産学公連携・中信ビジネスフェアを活用した支援

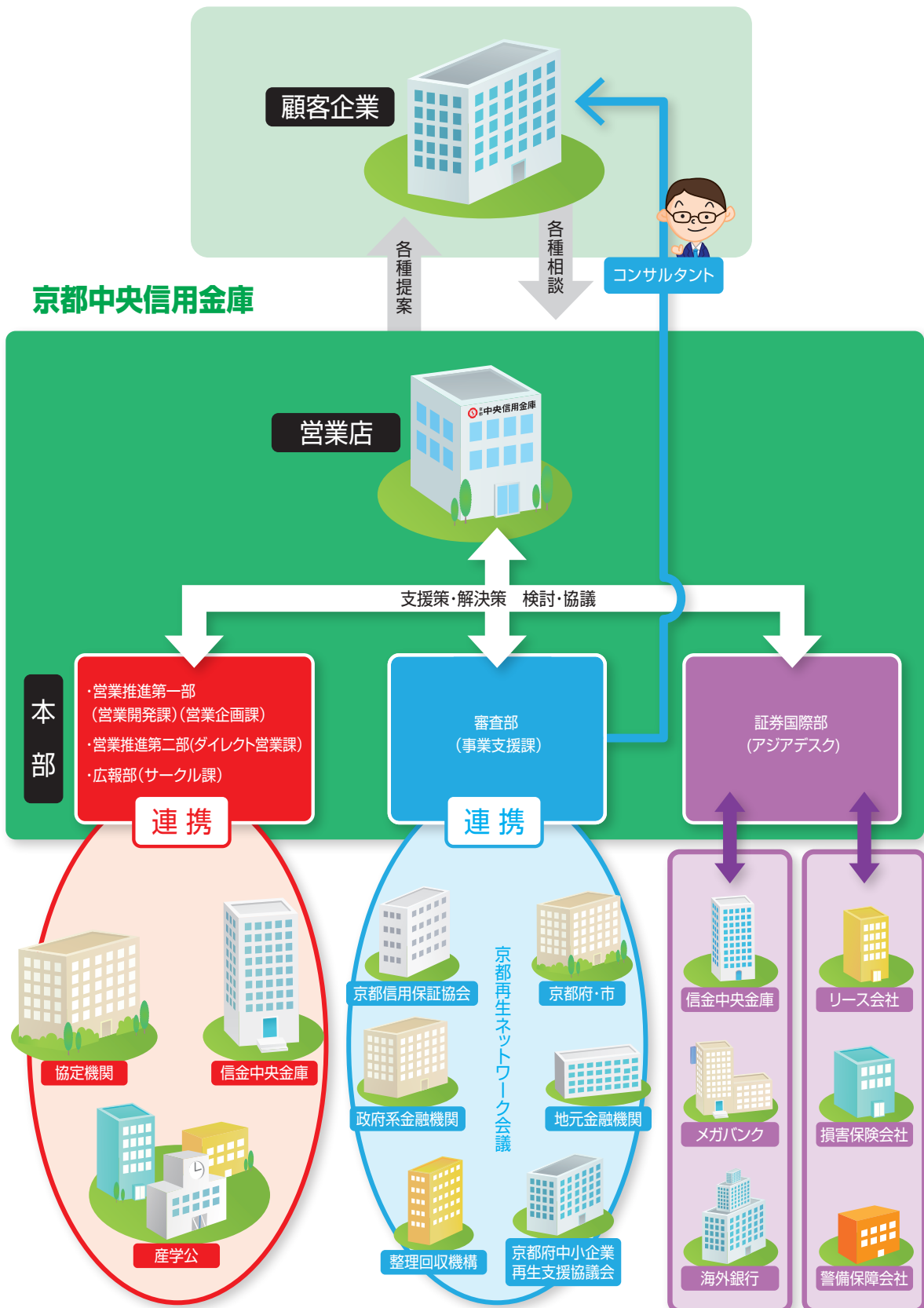
産学公連携・中信ビジネスフェア開催によるビジネスマッチングにより、創業・新事業開拓における支援を行っています。

事業拡大・異業種展開を目的としたM&Aの支援

本部と営業店の連携態勢を構築（テレビ電話等を活用した相談体制）、M&Aによる事業拡大・異業種展開の相談に対応し、M&A仲介業務提携会社の紹介業務を行っています。

● 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

中小企業の経営支援に関する態勢組織図



『中信ビジネスフェア2012』

当金庫主催の京都府下最大級の異業種交流複合イベントを開催しました。

出展数：297企業・団体（過去最多）

来場者数：9,050名（過去最多）

ビジネスマッチング：成約48社・商談中124社
（平成25年3月時点）



「食の祭典」

独立行政法人 中小企業基盤整備機構近畿本部とのタイアップ企画
出展数：34社



「東日本大震災復興支援企画」

- ・東北地方から13の企業・団体を誘致
- ・「震災復興イノベーション推進事業」をテーマにしたセミナーを開催

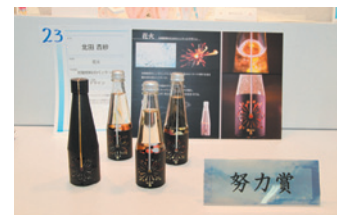
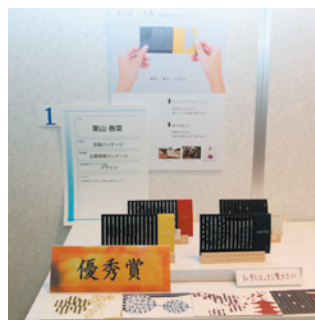
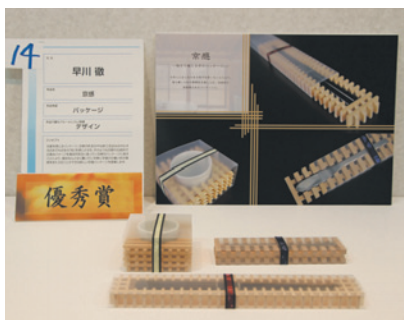
当金庫は、産学公連携を通じたビジネスマッチングにより新しいアイデアが新しいビジネスを生む、出会いと結びつきの機会提供に積極的に取り組み、成長企業の支援を行っています。

平成24年度は、東日本大震災復興支援企画として東北地方からも企業・団体を誘致し、地元企業だけでなく幅広い地域との交流やPRに繋がりました。

中信学生デザインコンテスト

“京風”をテーマとしたパッケージデザイン

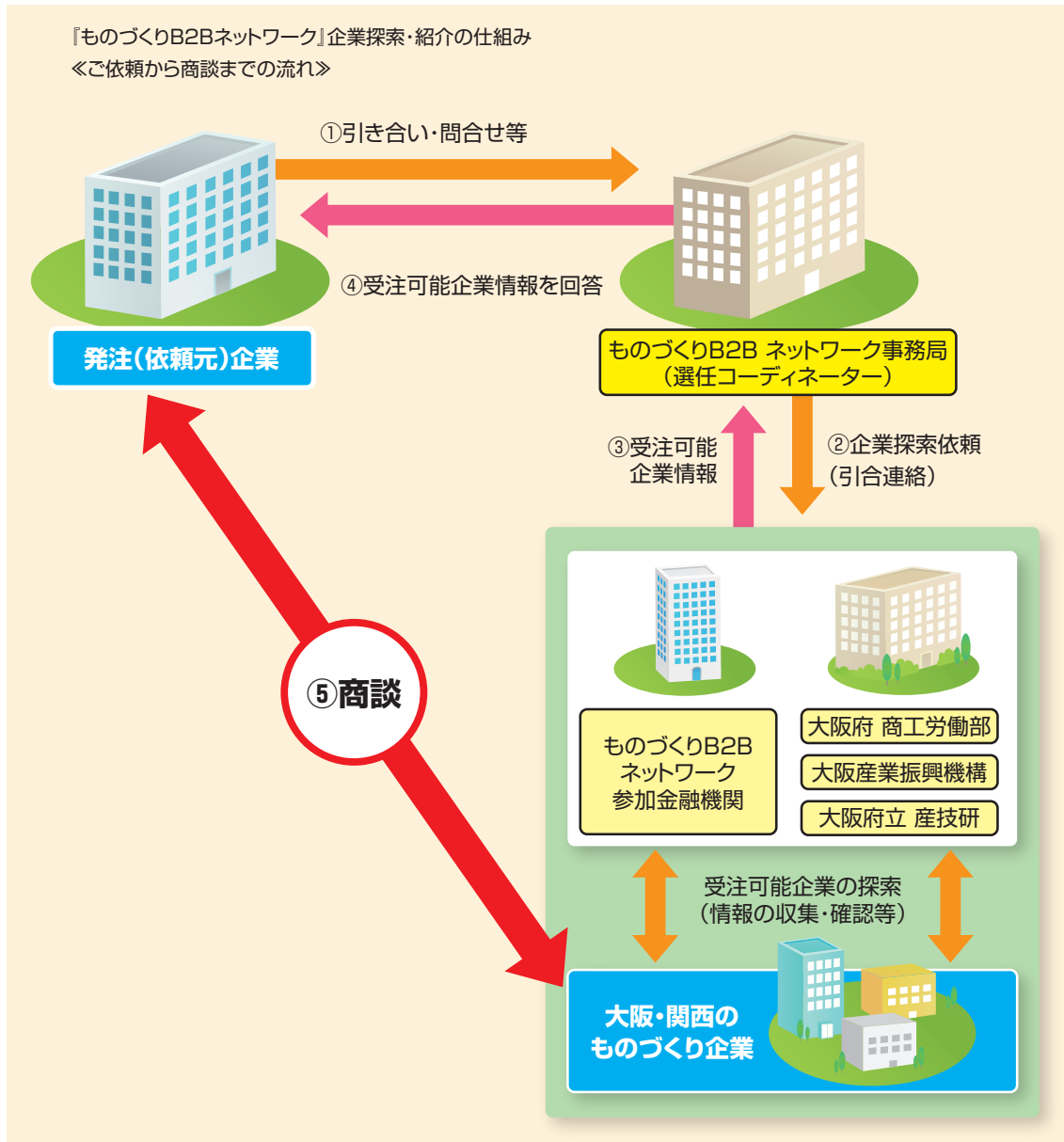
商談件数：2件（うち成立1件）
出品数：10大学49作品



『中信ビジネスフェア2012』の一環として実施した、当金庫の営業エリア内の大学等からアイデアを募ったコンテスト。学生の斬新・創造的なデザインを発掘し、産学連携を通じてビジネスマッチングの機会を提供することで、地元中小企業の発展に寄与しました。

① 企業探索

「信金PLUS+事業」・大阪府の「ものづくりB2Bネットワーク」・「京都試作ネット」等を活用した企業支援を行っています。



② 販路拡大

信金中央金庫と連携し、百貨店が開催している「チアアップ!ニッポンの“食”展」への出展先推薦・優待カタログへの掲載商品の募集について取組んでいます。

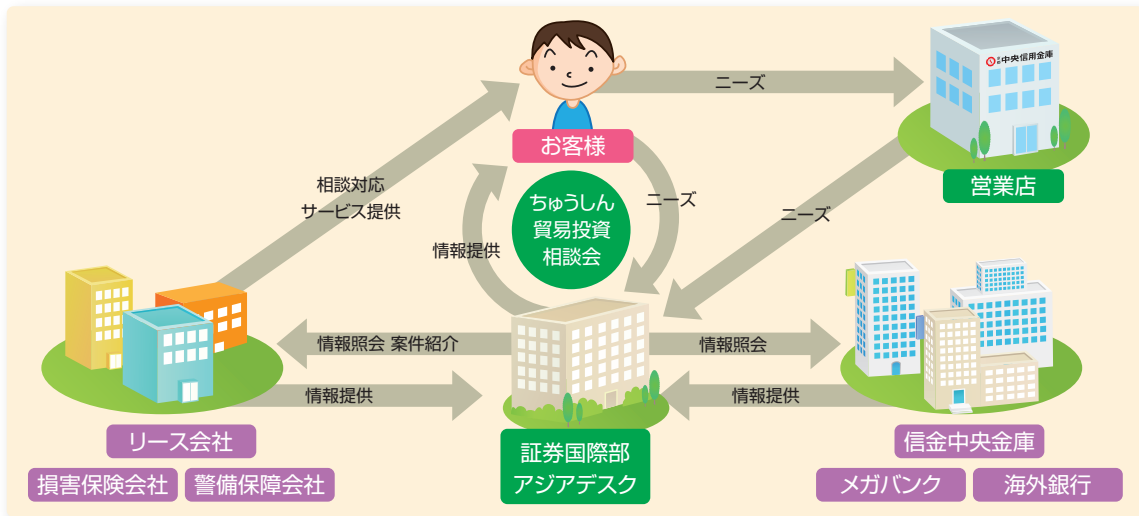
当金庫からの出展：2社

③ 認定制度

自社の強みを活かした京都府「知恵の経営」報告書認定制度、公益財団法人京都高度技術研究所主催「オスカー認定制度」等、公的機関との連携による推進を行っています。

「知恵の経営」認定書発行：3件 「オスカー認定制度」認定：1件

海外進出支援

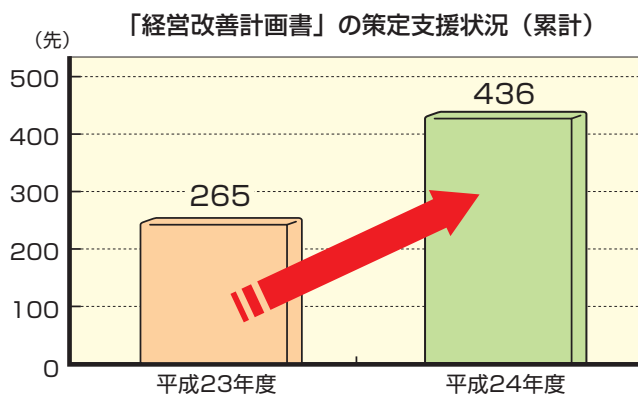


支援内容	実績
「ちゅうしん貿易投資相談会」による個別相談支援先	12社
うち、海外進出手続き先	5社
海外リース成約件数	3件（43百万円）

大手損害保険会社や大手警備保障会社との業務提携により、海外業務に関する保険紹介や危機管理情報、海外セキュリティサービスの提供ができる態勢を整えました。また、平成25年3月に中国銀行と人民元業務について業務提携を行い、人民元決済の提供や中国金融制度等の情報提供など、お客様の中国向け事業への支援態勢を強化しました。

● 経営改善が必要な企業への支援

経営改善支援先のモニタリングと経営相談



計画書書式ダウンロード

<http://www.chushin.co.jp/kariru/dl.htm>

平成24年度は経営改善支援先として1,270先を選定し、審査部事業支援課スタッフおよび営業店職員による訪問・面談により、中小企業の経営者が抱える経営課題に対する助言・指導および経営改善計画書の策定支援やモニタリングを継続して行うなど、経営改善をサポートしています。

金融円滑化への積極的な取組み

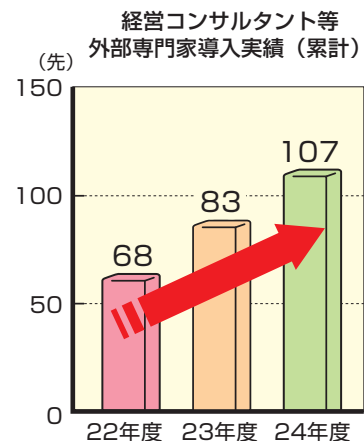
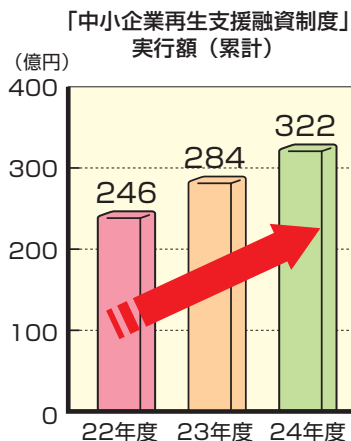
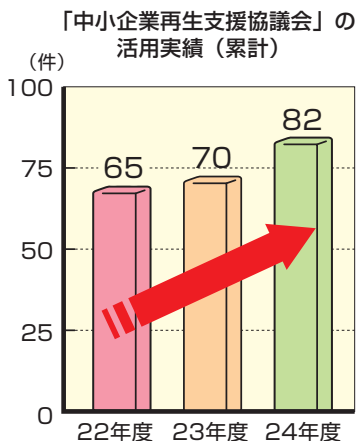
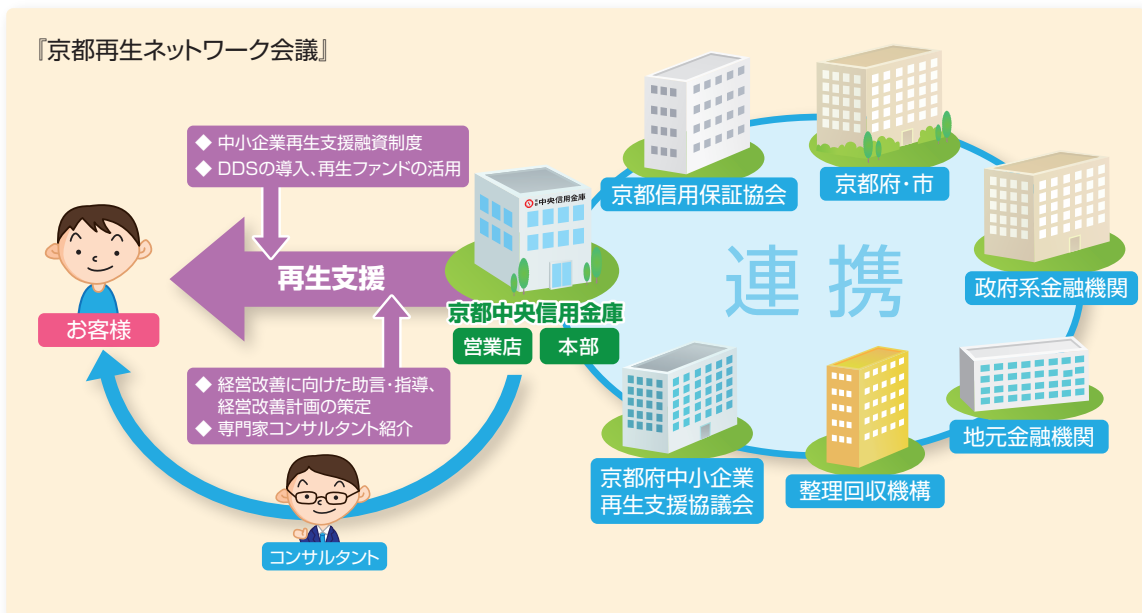
「中小企業金融円滑化法」の趣旨を十分に理解し、また「東日本大震災」の影響にも十分配慮しながら、中小企業者に対する金融の円滑化、資金調達余力確保のために、政府や信用保証協会の制度等を積極的に活用し、スピーディーな対応に努めました。

平成25年3月末に同法の期限は到来していますが、その後も当金庫の対応方針は何ら変わりなく、お客さまからのお借入に関するご相談、お申込みについては真摯な対応に努めてまいります。

保証制度	件数	金額
『東日本大震災復興緊急保証制度』	13件	356百万円
『セーフティネット保証制度』	1,788件	44,916百万円

●事業再生や業種転換が必要な企業への支援

当金庫は、抜本的な経営改善を必要とする取引先企業の早期事業再生のため、「京都再生ネットワーク会議」の機能を十分活用し、中小企業再生支援協議会や信用保証協会などの外部機関や他の金融機関との連携、また経営コンサルタントや公認会計士、税理士などの外部専門家との連携に努め、各種企業再生スキーム等により事業再生支援に取り組んでおります。

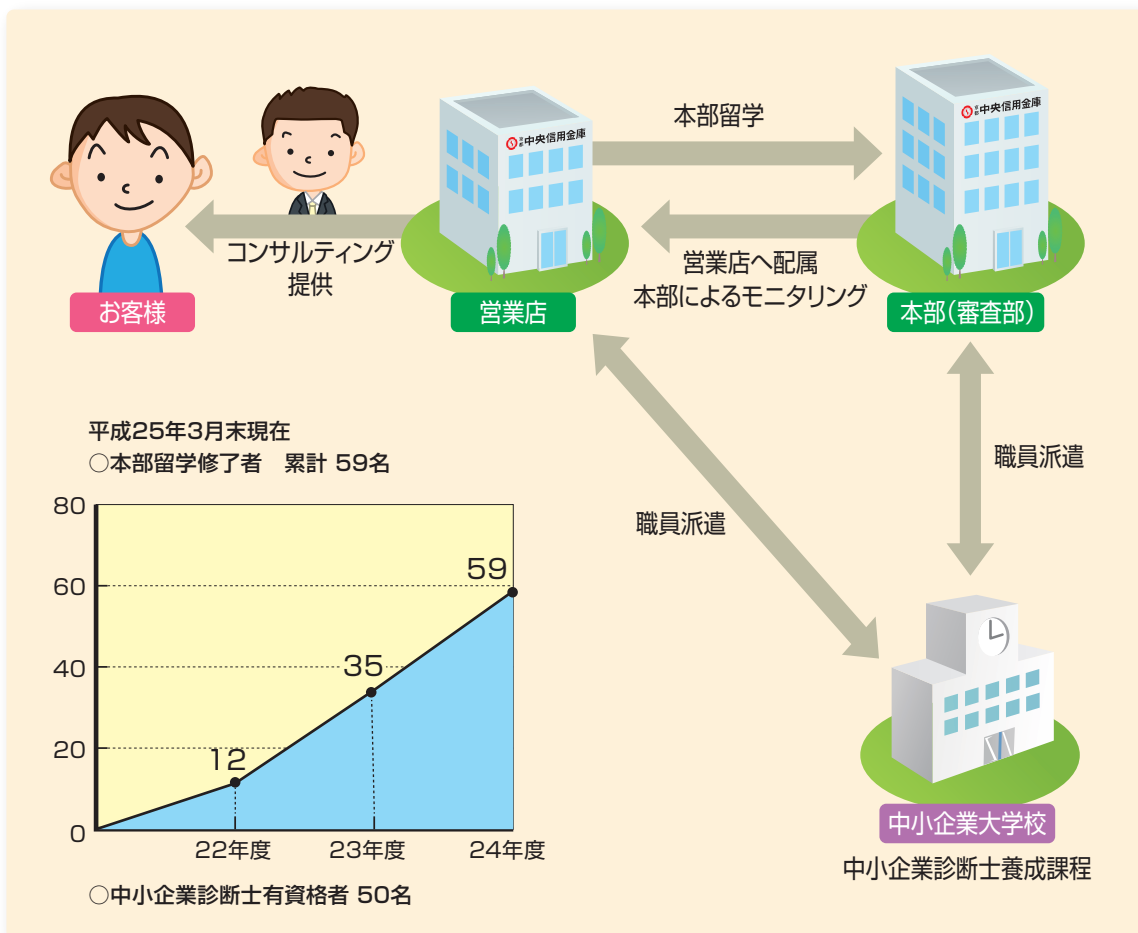


事業再生支援取組事例

当金庫取引先のA社（建設業）は、リーマンショック以降の建築不況による資金繰り難から多額の負債を抱え、複数の取引金融機関への返済が困難な状況下にありました。メインバンクである当金庫から抜本的な経営改善を図るべく経営者に働きかけ、すぐさま中小企業再生支援協議会に相談を持ち込みました。その後、企業実態の把握と事業再生に向けた改善計画書を作成するにあたり経営コンサルタントを導入し、また再生支援協議会の協力や「京都再生ネットワーク会議」を活用して信用保証協会を含む他金融機関との連携強化を図り、企業側も経営者を筆頭に様々なリストラ策を敢行することで生き残りへの確かな道筋を示す中で、全金融機関が協調した長期にわたる返済計画の組み直しを主体とした事業再生への取組みを完了し、現在は安定した経営状態を維持しています。

1-2 コンサルティング機能の強化

本部留学制度等による目利き能力向上



コンサルティング機能を強化するため、当金庫では営業店職員が本部（審査部）へ留学し、融資案件審査やお客様への訪問を通じて、「目利き能力」の向上に努めています。本部留学期間終了後は、営業店職員としてコンサルティング能力を発揮し、お客様を支援しています。また、本部留学制度の実効性を高めるため、営業店での業務上の課題や目標等活動状況を本部がモニタリングしています。

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

● 地域への適切なコミットメント

地域の人材育成・文化発展・金融知識普及



公益財団法人中信育英会



インターンシップ



中信杯全京都学童軟式野球選手権大会



中信美術館



中信味覚の会



京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク

人材育成

「公益財団法人 中信育英会」による奨学援護やインターンシップ実習生としての大学生の受入れ、スポーツを通じた小学生の育成など、地域社会の次世代を担う人材育成に貢献しています。

文化発展

「中信美術館」への来場者数は57,118人（平成25年3月末時点）となり、多くの方々に美術文化に親しんでいただいています。また、「中信味覚の会」による味の文化に触れるサークル活動、「中信宵山狂言会」の開催による伝統芸能・狂言の普及など、地域文化の発展に寄与しています。

金融知識普及

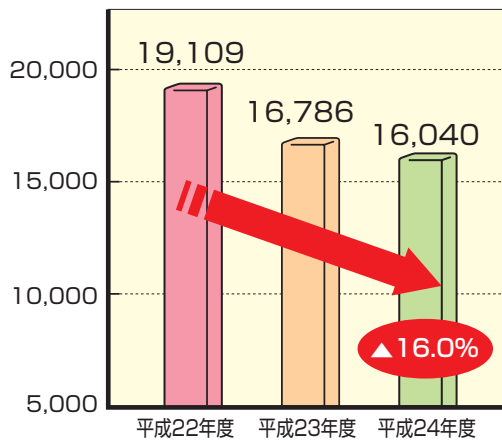
生涯学習の一環として地域の小学校からの営業現場見学の受入れや、中学校の社会人講師講座への講師派遣、「大学教育改革地域フォーラム」への講師（パネラー）派遣などを通じて地域へ金融知識を普及する活動を行っています。また、「京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク」に模擬店舗を継続して出店しており、子どもたちの経済活動の体験学習に協力しています。

環境経営への取組み

ISO14001規格による環境マネジメントシステムの運用および改正された省エネ法への対応も踏まえ、環境に配慮した商品・サービスの提供、環境配慮型店舗づくり、省エネルギー・リサイクルなどの取組みを積極的に地域へ発信し、地域社会の持続的発展に貢献していきます。

電気使用量 16.0%削減

平成24年度における金庫の主要施設全体の電気使用量は16,040千Kwhとなり、平成22年度(19,109千Kwh)比16.0%削減できました。



デマンド監視装置を追加設置

デマンド監視装置を営業店10カ店に追加導入し(合計22カ店)、節電対策を強化しました。デマンド監視装置導入店舗の最大需要電力を平均21.8%(平成22年度比)低減させました。



デマンド監視装置

地域の清掃活動

- ・6月25日
「びわ湖の日」清掃活動に参加
- ・7月1日
瀬田支店、石山支店、堅田支店周辺の「琵琶湖一斉清掃」に参加
- ・10月14日
鴨川クリーンキャンペーンに参加



エコ定期預金の販売

環境問題に関する地球貢献の一環として、金利を上乗せした「エコ定期預金」を販売し、本定期預金残高の0.015%相当額を「独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金」へ寄付しました。

販売金額 80億円
寄付金額 121万円



(3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

● 地域の活性化につながる多様なサービスの提供

地域経済への多様な情報提供

中信経済講演会

企業経営者を対象に「中信経済講演会」を開催し、景気動向や経済分析・見通しなど地域経済活性化のヒントとなる情報を提供しています。

《計3回開催 来場者総数821名》



中信サクセスセミナー

中小企業の事業拡大・経営改善の支援を目的として、経営相談を行っている地元の中小企業診断士による経営セミナーを開催。中小企業の経営者自らの経営目標や課題の実現・解決を支援しています。

《6回開催 参加者総数142名》



高齢者への相談業務

年金や相続に関する疑問解消の為にフリーダイヤルや、テレビ電話による相談業務を随時行っています。

《フリーダイヤル》

年金相談件数 376件

相続相談件数 1,106件

《テレビ電話》

年金相談件数 6件

相続相談件数 1,779件

ビジネス情報誌『ANONA』

ビジネス情報誌『ANONA（あのな）』を発行し、地元企業の景気動向調査の結果を提供しています。《平成24年度 4回発行》



● 地域密着型金融の取組みの発信

ホームページやディスクロージャー誌を活用した情報提供

当金庫の中小企業金融円滑化法期限到来後の対応方針および金融円滑化への取組み状況についてはホームページに掲載しており、中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況についてはディスクロージャー誌に掲載しています。

また、経営改善に活用していただけるよう、経営改善計画書の雛形をより実用的な形式に更新し、ホームページに掲載しております。